



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月4日  
上場取引所 東

上場会社名 カルビー株式会社  
 コード番号 2229 URL <http://www.calbee.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 伊藤 秀二  
 問合せ先責任者 (役職名) 上級執行役員 財務経理本部長 (氏名) 菊地 耕一 (TEL) 03-5220-6222  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	120,942	13.8	12,808	11.7	12,333	0.9	7,654	8.4
27年3月期第2四半期	106,270	11.1	11,467	29.4	12,218	30.7	7,064	21.1

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 7,532百万円(△14.8%) 27年3月期第2四半期 8,838百万円(38.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	57.36	57.24
27年3月期第2四半期	52.95	52.81

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	164,766	123,685	68.7
27年3月期	161,968	118,800	67.7

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 113,176百万円 27年3月期 109,652百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	-	0.00	-	28.00	28.00
28年3月期	-	0.00	-	-	-
28年3月期(予想)	-	-	-	33.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	240,000	8.0	28,800	19.1	28,000	9.3	15,800	11.9	118.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 ー 社 (社名) ー 、 除外 ー 社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期2Q	133,685,800株	27年3月期	133,629,800株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	193,452株	27年3月期	228,132株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期2Q	133,444,007株	27年3月期2Q	133,421,217株

(注) 株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式については、平成28年3月期第2四半期及び平成27年3月期の「期末自己株式数」にそれぞれ192,620株、227,300株含めており、平成28年3月期第2四半期及び平成27年3月期第2四半期の「期中平均株式数」においてそれぞれ、215,453株、140,450株控除しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢等様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 2 平成28年3月期の1株当たり当期純利益は、予定期中平均株式数133,492,348株により算定しております。
- 3 当社は、平成27年11月4日(水)に機関投資家・アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会の動画については、開催後当社ホームページに掲載する予定であります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
第2四半期連結会計期間	
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や金融緩和政策の効果により緩やかな回復基調にあるものの、円安に伴う物価上昇や先行き不透明感から個人消費の回復は足踏み状態が続いております。

スナック菓子市場は、消費税増税の影響で一時的に需要が落ち込んだ前年を上回って堅調に推移しました。

このような環境にあつて、当社グループは、引続き、イノベーション（成長戦略）とコスト・リダクションを経営の二本柱とする事業活動を推進しました。国内事業では、ポテト系スナックやシリアル食品の「フルグラ」が好調で高い市場シェアを維持することができました。海外事業では、北米の「Harvest Snaps」と韓国の「Honey Butter Chip」が引続き好調で、収益拡大に貢献しました。また、海外事業のさらなる拡大に向けて、平成27年4月にシンガポールでの売上・シェア拡大を目的として販売代理店を子会社化いたしました。一方、業績不振が続いていた中国の子会社、カルビー（杭州）食品有限公司については合弁契約を解消し、当社及び伊藤忠商事株式会社が保有する持分の全てを康師傅方便食品投資（中国）有限公司に譲渡することといたしました。

コスト・リダクションでは、生産効率の向上による製造原価率の低減、在庫の削減と販売管理費の効率的運用に努めました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、食品製造販売事業が好調に推移したことにより、120,942百万円（前年同四半期比13.8%増）となりました。利益面では、円安に伴う原材料価格の上昇や償却負担増により売上原価率が上昇しましたが、増収による利益増により、営業利益は12,808百万円（前年同四半期比11.7%増）となりました。経常利益は、開業費349百万円、発売延期となった成型ポテトチップスに係るたな卸資産廃棄損297百万円を計上したことなどにより、12,333百万円（前年同四半期比0.9%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は7,654百万円（前年同四半期比8.4%増）となりました。

	平成27年3月期 第2四半期		平成28年3月期 第2四半期		伸 び 率 (%)	現地通貨 ベースの 伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
国内売上高	96,399	90.7	106,070	87.7	+10.0	+10.0
海外売上高	9,870	9.3	14,871	12.3	+50.7	+34.2
合計	106,270	100.0	120,942	100.0	+13.8	+12.3

## ・事業別の状況

## (食品製造販売事業)

食品製造販売事業の売上高は、ポテト系スナックやシリアル食品、海外事業が貢献し、119,204百万円（前年同四半期比13.9%増）となりました。

## ・スナック菓子

スナック菓子の売上高は、100,394百万円（前年同四半期比11.1%増）となりました。

## ① ポテト系スナック

ポテト系スナックの売上高は、61,272百万円（前年同四半期比8.3%増）となりました。

「ポテトチップス」の売上高は、発売40周年を迎えたベーシックシリーズや「堅あげポテト」が好調で、37,182百万円（前年同四半期比11.3%増）となりました。「じゃがりこ」の売上高は、「たらこバター」の売上が伸長し、17,436百万円（前年同四半期比2.7%増）となりました。「Jagabee」の売上高は、期間限定品が好調で4,653百万円（前年同四半期比4.5%増）となりました。

## ② 小麦系スナック

小麦系スナックの売上高は、「おさつスナック」などが好調で、10,997百万円（前年同四半期比2.8%増）となりました。

## ③ コーン系スナック

コーン系スナックの売上高は、「ドリトス」の売上が堅調に推移したことに加え、「ギャレット ポップコーン ショップス」の新店効果もあり、9,179百万円（前年同四半期比3.6%増）となりました。

## ④ 国内その他スナック

国内その他スナックの売上高は、「ベジップス」が減収となったことなどにより、4,073百万円（前年同四半期比6.8%減）となりました。

## ⑤ 海外事業

海外事業の売上高は、北米事業と韓国事業が好調で14,871百万円（前年同四半期比50.7%増）となりました。北米では、ミシシッピ州の新工場で6月に「Harvest Snaps」の生産を開始しました。

## ・その他食品（ベーカリー、シリアル食品）

その他食品の売上高は、5月に生産能力を拡大したシリアル食品の「フルグラ」の売上が大きく伸長し、18,810百万円（前年同四半期比32.1%増）となりました。

## (その他事業)

その他事業の売上高は、物流事業及び販売促進ツールの売上がともに前年を上回り、1,737百万円（前年同四半期比6.2%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結累計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ2,797百万円増加し164,766百万円となりました。この主な要因は、有価証券が減少しましたが、たな卸資産及び有形固定資産が増加したことによるものです。有価証券の減少はコマーシャルペーパーが償還されたことによるものです。たな卸資産の増加は原料じゃがいもの最大の産地である北海道が収穫期を迎えたことによるものです。有形固定資産は売上成長が続いているシリアル食品や北米の生産設備を取得したことにより増加しました。

負債は、未払法人税等やその他の流動負債が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ2,087百万円減少し、41,080百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより、前連結会計年度末に比べ4,885百万円増加し、123,685百万円となりました。

この結果、自己資本比率は68.7%となり、前連結会計年度末に比べ1.0ポイント上昇しました。また、1株当たり純資産額は847円81銭となりました。

## (キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ2,057百万円増加し、44,629百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、未払消費税等は減少しましたが、売上債権の減少や減価償却費の増加などにより、収入が前年同四半期に比べ481百万円増加し、9,370百万円の収入となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、シリアル食品や北米の生産設備の取得などにより、支出が前年同四半期に比べ3,445百万円増加し、4,188百万円の支出となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、非支配株主からの払込みによる収入は増加したものの、配当金の支払額が増加したことにより、支出が前年同四半期に比べ294百万円増加し、2,869百万円の支出となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、概ね計画通りで推移しており、平成27年5月12日に発表した業績予想を修正しておりません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

上記による当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,891	19,069
受取手形及び売掛金	21,119	20,930
有価証券	34,995	27,999
たな卸資産	8,037	11,076
その他	6,502	4,857
貸倒引当金	△5	△3
流動資産合計	89,541	83,928
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,369	23,469
機械装置及び運搬具（純額）	17,159	21,253
土地	11,501	11,515
建設仮勘定	9,387	9,605
その他（純額）	1,337	1,332
有形固定資産合計	59,754	67,177
無形固定資産		
のれん	2,719	2,591
その他	1,835	2,862
無形固定資産合計	4,555	5,454
投資その他の資産		
投資その他の資産	8,196	8,283
貸倒引当金	△79	△78
投資その他の資産合計	8,117	8,205
固定資産合計	72,427	80,837
資産合計	161,968	164,766

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,387	12,506
短期借入金	402	405
未払金	5,165	4,283
未払法人税等	5,174	3,735
賞与引当金	3,775	3,354
役員賞与引当金	198	106
株式給付引当金	83	—
その他	10,041	7,922
流動負債合計	34,227	32,314
固定負債		
役員退職慰労引当金	573	509
役員株式給付引当金	132	121
退職給付に係る負債	7,076	6,973
資産除去債務	637	641
その他	520	519
固定負債合計	8,940	8,765
負債合計	43,168	41,080
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,975	11,988
資本剰余金	11,543	11,552
利益剰余金	84,956	88,869
自己株式	△699	△609
株主資本合計	107,774	111,801
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	617	601
為替換算調整勘定	2,377	1,819
退職給付に係る調整累計額	△1,116	△1,045
その他の包括利益累計額合計	1,877	1,375
新株予約権	25	21
非支配株主持分	9,122	10,488
純資産合計	118,800	123,685
負債純資産合計	161,968	164,766

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	106,270	120,942
売上原価	59,499	69,355
売上総利益	46,770	51,587
販売費及び一般管理費	35,303	38,778
営業利益	11,467	12,808
営業外収益		
受取利息	139	99
受取配当金	20	17
為替差益	506	4
その他	185	178
営業外収益合計	851	300
営業外費用		
支払利息	2	5
開業費	49	349
たな卸資産廃棄損	—	297
その他	48	122
営業外費用合計	100	775
経常利益	12,218	12,333
特別利益		
固定資産売却益	5	6
投資有価証券売却益	10	—
ゴルフ会員権売却益	—	2
特別利益合計	16	8
特別損失		
固定資産売却損	2	2
固定資産除却損	89	89
減損損失	22	—
製品回収関連費用	—	26
その他	0	0
特別損失合計	114	119
税金等調整前四半期純利益	12,120	12,222
法人税、住民税及び事業税	3,752	3,787
法人税等調整額	706	△28
法人税等合計	4,458	3,758
四半期純利益	7,661	8,464
非支配株主に帰属する四半期純利益	596	809
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,064	7,654

## 四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	7,661	8,464
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	73	△15
為替換算調整勘定	1,016	△987
退職給付に係る調整額	86	71
その他の包括利益合計	1,176	△931
四半期包括利益	8,838	7,532
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,810	7,152
非支配株主に係る四半期包括利益	1,027	380

第2四半期連結会計期間  
四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)
売上高	54,000	61,111
売上原価	30,324	34,630
売上総利益	23,676	26,480
販売費及び一般管理費	18,076	19,770
営業利益	5,599	6,710
営業外収益		
受取利息	60	37
為替差益	631	—
保険解約返戻金	—	34
その他	96	81
営業外収益合計	788	153
営業外費用		
たな卸資産廃棄損	—	297
為替差損	—	192
開業費	36	41
その他	25	60
営業外費用合計	61	592
経常利益	6,326	6,271
特別利益		
固定資産売却益	4	5
ゴルフ会員権売却益	—	2
特別利益合計	4	8
特別損失		
固定資産除却損	45	75
減損損失	22	—
その他	0	2
特別損失合計	68	78
税金等調整前四半期純利益	6,263	6,201
法人税、住民税及び事業税	2,282	2,142
法人税等調整額	△5	△436
法人税等合計	2,276	1,706
四半期純利益	3,986	4,495
非支配株主に帰属する四半期純利益	299	323
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,686	4,171

## 四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	3,986	4,495
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17	△28
為替換算調整勘定	1,239	△1,406
退職給付に係る調整額	43	36
その他の包括利益合計	1,300	△1,398
四半期包括利益	5,286	3,097
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,452	3,337
非支配株主に係る四半期包括利益	834	△240

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,120	12,222
減価償却費	2,924	3,463
減損損失	22	—
のれん償却額	322	348
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△3
賞与引当金の増減額(△は減少)	△662	△417
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△106	△92
株式給付引当金の増減額(△は減少)	△13	△4
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△17	55
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△22	△39
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△66	△63
受取利息及び受取配当金	△159	△117
支払利息	2	5
為替差損益(△は益)	△232	303
投資有価証券売却損益(△は益)	△10	—
固定資産売却損益(△は益)	△3	△3
固定資産除却損	89	89
売上債権の増減額(△は増加)	△974	142
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,059	△3,092
仕入債務の増減額(△は減少)	3,236	3,132
未収入金の増減額(△は増加)	4	△224
未払金の増減額(△は減少)	△319	△470
未払消費税等の増減額(△は減少)	793	△1,852
その他	148	1,117
小計	14,016	14,498
利息及び配当金の受取額	151	115
利息の支払額	△0	△3
法人税等の支払額	△5,279	△5,240
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,888	9,370

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,618	△11,772
有形固定資産の売却による収入	12	25
無形固定資産の取得による支出	△304	△1,365
有価証券の取得による支出	△13,997	△1,999
有価証券の償還による収入	13,000	11,000
投資有価証券の取得による支出	△7	△7
投資有価証券の売却による収入	18	—
貸付けによる支出	△60	△150
貸付金の回収による収入	98	195
定期預金の預入による支出	△173	△455
定期預金の払戻による収入	5,270	320
差入保証金の差入による支出	△55	△111
差入保証金の回収による収入	76	211
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△92
その他	△1	14
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△743</b>	<b>△4,188</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	129	—
自己株式の取得による支出	△449	—
ストックオプションの行使による収入	24	22
非支配株主からの払込みによる収入	761	1,298
配当金の支払額	△2,937	△3,737
非支配株主への配当金の支払額	△58	△423
リース債務の返済による支出	△44	△30
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,575</b>	<b>△2,869</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	311	△254
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,880	2,057
現金及び現金同等物の期首残高	31,592	42,572
現金及び現金同等物の四半期末残高	37,473	44,629

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。